

地域自主組織『かくわの郷庄内』

「コロナ禍での活動の苦しみ」

イベント部は壮年会（敬老会）、防災訓練、ふれあい健康祭り（運動会）、グラウンドゴルフ大会の4事業を行っています。

しかし昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響から、グラウンドゴルフ大会だけの実施となりました。本番前に4回の練習日を設けて臨んだ10月18日の大会本番には、36人の方に参加いただきました。



▶近いけど慎重に！

参加された方は、皆さん喜んでおられたようですが、中には「大会が秋の例大祭と重なり、ベストメンバーが組めなかった」と残念がる方

もあり、行事の開催を決めることの難しさを感じた一コマでした。



▶一休みして交流

さて、今年度と昨年度との社会状況を比較すると、今年度は新型コロナウイルスに罹患した方がはるかに多く、このような状況下において、イベント部の行事をどのように行ったら良いか、判断するのに悩ましさを感じています。

ただ、闇雲に行事を中止すると自

主活動が停滞することにもつながるため、状況を見ながら進めることとしました。

6月には壮年会と防災訓練を予定していました。壮年会は例年大阪からプロの落語家を招いており、今年も大阪からお招きしたいと、壮年会の開催ギリギリまで、新型コロナウイルス感染症が収まるのを待ちましたが、願いはむなく感染拡大は収まらず、急遽近隣の方に講師をお願いすることとなりました。しかし、講演依頼から壮年会までの期間が短かったため、講師は十分な練習時間が取れず、練習不足となることが明らかだったため、依頼を辞退され、止む無く会を中止することとなりました。

また防災訓練は、「密」の状況になりやすい講話を中止し、水消火器を使用した屋外での消火訓練のみ実施するなど、規模を縮小して行うこととしました。



▶日頃の備えが肝心

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を希望された高齢者は、7月末には接種が終わる見込みですが、今回のワクチン接種の効果が見込めない変異株が流行するような事態になれば、今後予定しているふれあい健康まつりやグラウンドゴルフ大会の中止も検討する必要があるものと思います。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行下での事業実施の判断は、事業を行うか否かに難しさを抱えながら行うこととなりそうです。

◎ かくわの郷庄内事務局

☎ 0859-5716123



QRコード